



なんぶ

議会だより

第78号

令和5年12月議会
発行/令和6年2月

● 新年議長あいさつ	2	● 行政視察	16~17
● 12月議会審議結果・臨時議会	3~5	● 令和6年度町政要望	18~19
● 一般質問	6~14	● 町議会広報探検隊	22~21
● 挑戦者たち	15		

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



新年議長あいさつ

南部町議会議長 景山 浩

新年あけましておめでとうございます。本年が町民皆様にとって明るく実り多い年になることを心からご祈念申し上げます。

さて、令和5年12月議会定例会が12月8日から13日間にわたり開会されました。

執行部提案24議案、議員発議2議案の合計26議案の審査を行い、全議案とも可決しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、それまで中止や規模縮小となっていた各種行事等が徐々に通常通りに戻り始めました。令和6年こそは例年通りの日常が戻ってくることを暗示させるように穏やかに明けた元日、能登半島で震度7という大地震が発生し、翌2日には被災地に救援物資を届ける海上保安庁の輸送機

と日本航空の旅客機の滑走路上の衝突死亡事故発生という大変ショッキングな事件が起こりました。震災や事故によりお亡くなりになられた皆様に衷心より哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

災害や事故、特に自然災害は人間の都合にかかわりなく、いついかなる時にでも起こり得るものだというのを改めて思い知らされました。地震や豪雨などを防止することは出来ませんが、発災後の被害を最小限に止め、スムーズな復興に結び付けられる備えについてももう一度考えさせられる歳の初めとなりました。



12月定例議会

令和5年12月定例議会は12月8日(金)から20日(火)までの会期で開催され、一般会計補正予算及び条例の制定、一部改正5議案、公の施設の指定管理の指定9件、追加議案3件及び陳情1件の発議案含む31件が審議され、すべて可決・承認された。

令和5年度南部町一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算の総額に2億3852万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ82億1618万円とする。

統合保育所事業に賛否両論賛成多数で可決

主な事業

物価高騰に伴い、町民の生活が困難な現状から、経済支援対策や町営バスと路線バスとの運賃格差を解消する補正予算、更に、長年の懸案事項であった、さくら・つくし保育園統合整備事業や同園保育士の処遇改善を盛り込んだ補正予算であった。

	補正額	計 (万円)
・統合保育所整備事業・・・新たな保育所建設予定地の測量他事業費	3,110	3,110
・公設民営保育園運営事業・・・「伯耆の国」保育士の待遇改善を図る	883	19,001
・電気・ガス・食料品等価格・・・非課税世帯の負担軽減を図る 高騰重点支援給付金事業	7,270	10,476
・公共交通対策事業・・・町営バスと路線バスの運賃格差是正を図る	140	8,445
・三世帯同居支援事業・・・住宅の新築、増改築等を行うときの支援金	240	880

討論

反対

- ・公設民営保育園事業について、職員の人件費増額の提案だが、積算根拠が二転三転し、審査に値しない。
- ・保育園の用地の問題について住民に説明がないまま建設調査費を計上し、報酬引上げを安易に認める構図である。
- 伯耆の国ありきの民間移管を前提とした用地測量調査費の予算提案には反対する。

賛成

- ・この補正予算には低所得者支援対策、町営バスと日の丸バスの運賃格差解消の予算も含まれているので賛成する。
- ・医療、保育、賃上げ、子育て応援など、住民の様々な困り事などの声に対応した補正予算だ。一刻も早い支援、支給が必要なものであり賛成する。
- ・伯耆の国人件費の増額については説明不足であり、厳しく指摘する。

議員名 (議席番号順)	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
令和5年度南部町一般会計補正予算(第6号)	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×



保育園建設予定地



南部町内路線運行 (日ノ丸バス)

条例の制定及び一部改正

賛成多数で可決

・南部町下水道事業の設置等に関する条例の制定について

下水道事業に地方公営企業法の財務規定を適用し、企業会計に移行させるための条例制定。



反対 下水道会計は一般会計からの繰入れがあつて成り立っている。企業会計移行によって使用料の値上げに繋がる懸念があり反対する。

賛成 企業会計への移行は国の方針である。地方では使用料だけの収支バランスは困難である。法定外の繰入れを担保し、住民への負担がかからない方向が必要である。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
下水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

他4件の条例の一部改正があつた。

- ・特別医療費助成条例の一部改正について（高校卒業までの医療費を無償化する）
- ・国民健康保険税条例の一部改正について（出産一時金45万円を50万円とする）

公の施設の指定管理者の指定について

全員一致で可決

公の施設の指定管理者の指定議案が、さいはくカントリーパーク他、8施設について提案があり、すべて全員一致で可決された。

特別会計他補正予算

（単位：万円）

案件名	補正額	合計	説明
国民健康保険事業特別会計	2,536	43,606	出産育児一時の増額及び繰越金補正
農業集落排水事業特別会計	85	21,623	会見第2地区浄化センター動力盤修理補正
浄化槽整備事業特別会計	0	6,310	ゼロ債による債務負担行為
公共下水道事業特別会計	37	21,998	人件費、ゼロ債補正
太陽光発電事業特別会計	0	7,410	光熱水費の不足454万円を積立金で調整
水道事業会計補正予算	37	20,817	人件費、ゼロ債補正
西迫病院事業会計補正予算	517	249,192	人件費、ゼロ債補正
在宅生活支援事業会計補正予算	180	4,867	人件費補正

ゼロ債：翌年度以降の支出を伴う契約等の行為を行うために議会の議決を経て設定されるもの。

陳情結果

全員一致で可決

案件名	陳情者
「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会会長 石井 由加利

陳情：どなたでも提出できます。提出された陳情のうちで南部町住民の方からの陳情及び直接持参された陳情は請願に準じた要領で取り扱います。紹介議員の必要はありません。

12月定例議会報告（発議・追加議案）

発議

議員が「議案」（3人以上の賛同）を議長に提出すること。また、採択された請願・陳情を議会の意思として、意見書を国会又は関係行政庁へ提出する。

- ・ガザ攻撃中止と即時停戦に向けての行動を日本政府に求める意見書
- ・子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書

**全員一致
で可決**

追加議案

定例議会開催中に会計補正、条例等の議案の必要が生じた場合、最終日に提案される。

令和5年度南部町一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出予算の総額に1億523万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ83億2142万円とする。

全町民へ5,500円分のポイントを「たすかーど」で配布し、生活支援と町内経済活性化を図る。

全員一致で可決

主な事業

「たすかーど」は大切に保管してください。

	補正額	計（万円）
・地域活性化ポイント導入事業・・・全町民への生活支援と経済活性化を図る	5,720	12,298
・電気・ガス・食料品等価格・・・非課税世帯へ世帯あたり10万円を支給 高騰重点支援給付金事業	3,296	13,773

議会改革調査特別委員会報告（議会へタブレットの導入）

議会も情報化時代やペーパーレス化に対応及び議会情報や災害情報の収集と共有を図る目的で、町からの貸与を受け、12月議会からタブレット端末を導入し、議案やデータの共有と、過去のデータ閲覧や確認がスムーズに行えるようになりました。さらにリモート会議などへの活用も検討していきます。



タブレットを議場で使用

<タブレット端末導入の効果>

- ・町と議会および町民の現状を即座に把握でき、すばやい対応が可能になる。
- ・膨大な議会関連資料のペーパーレス化により環境へ配慮した取り組みと業務量の削減を行う。
- ・資料の即時共有や配信、携行により、議員活動の活性化が図られる。
- ・議員間の連絡、情報交換、情報共有の活発化が図られる。
- ・資料作成、配布、差し替えなどにおける省力化によって、職員の負担軽減による働き方改革の一環になる。



令和5年12月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名	発言時間	質問事項
1 白川 立真	20	1 農業の未来
2 荊尾 芳之	30	1 スポーツ振興
		2 農業施策
3 板井 隆	30	1 少子化対策
4 加藤 学	30	1 農業問題
		2 保育園の統合
5 三嶋 義文	20	1 農業支援策
6 亀尾 共三	30	1 住宅リフォーム制度の確立を求める
		2 町立西伯病院内に人工透析を開始することを求める
7 仲田 司朗	30	1 西伯病院の経営強化プラン作成後の経営状況
		2 桜の維持管理
8 眞壁 容子	30	1 生活支援を求める
		2 ごみ問題を問う
		3 保育園アンケート
9 細田 元教	30	1 少子化および子育て施策

【質問の通告】

一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】

定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

農業の未来

Q 新規就農者を増やすための策は

A さらなる指導体制、支え合いの体制を築いていく



白川立真 議員



町長 高い技術をもつ農家とのマンツーマン指導が必要だと思う。一人でやっていけるところまで町としても協力体制をとっていきたい。

白川 彼らの多くは農業経験がない方がほとんどだ。さらに町外から移住するなどして環境や生活など様々な不安や悩みを持っていると思う。彼ら同士がともに勉強し合いながら切磋琢磨し、不安ごとなどを相談し合える体制をつくってほしい。

町長 そのようなつながりや体制をつくっていききたい。また、担当課や地域の方々にも幅広く関わってほしい。

町長 新規就農者は孤独だと思う。作物の出来栄や収益、また生活などの不安があると思う。相談し合える仲間と同僚である。ともに支え合い、目標に向かって夢を語り合えるようなつながりを産業課も中心になってつくり上げていきたい。

白 技術の習得は一朝一夕にはいかない。指導に当たっては県の普及員や農協営農指導員もいるが、高い技術を持つ農家の指導が必要不可欠だと思う。その理由として、技術だけでなく心構えなどを伝える必要があると考え。町長の考えを問う。

町長 新たに農業経営を行う方には経営安定の段階まできめ細やかな支援が必要だ。一方、農業参入の課題として農地の確保、資金の確保、技術の習得があげられる。

白 現在、ネギやイチゴ、果樹などで新規就農している若者たちがいる。さらにフルーツロード構想に関わる就農予定者もいるときいている。彼らをしっかりと支えていくことが次の新規就農につながると思うが所感を問う。

スポーツ振興

Q 町が行うべきスポーツ振興は A 健康づくりと運動の生涯スポーツだ



かたらお よしゆき
荊尾芳之 議員



荊尾 10月に瀬古俊彦さんの講演を聞く機会があり、スポーツの意義、重要性、スポーツの役割を再認識させられた。

やはりスポーツは子どもたちが成長する過程で、また人間形成を図る上でも重要なと気づいた。

10年後に鳥取県で国民スポーツ大会が開催予定であり、これを見据えて町はどのように選手育成を行うか問う。

教育長

鳥取県での国スポの開催は、本町スポーツ振興にとっても大きなチャンスととらえている。世界大会や全日本クラスなど、極めて高いレベルの競技力を目指す選手や団体は、県や各種競技団体が担っている。県は、鳥取ジュニアアス

リート発掘事業を進めている。

町は、トップアスリートの育成を担う取組と連携しつつも、町が担うスポーツ振興の柱は、健康づくりと運動した生涯スポーツの普及が重要と考えている。

荊尾

「ねんりんピック」の開催について、期間及び内容、町内の関わりや広報について問う。

教育長

正式名称は、全国健康福祉祭といい、60歳以上の高齢者が健康保持、増進、社会参加、生きがいの高揚等を目的に開催される大会だ。来年の10月19日から22日まで南部町民野球場でソフトボール競技を開催する。選手役員で約300人が来町予定だ。今後開催にあたり、実行委員会や運営委員会で大会の成功に向け具体的な検討をはじめめる。

荊尾 スポーツ施設の利用率減免制度について問う。

教育長 施設の利用料減免制度は、「南部町公の施設

等の使用料及び使用料減免取扱規則」で対応している。小・中学生が野球場を使う際の減免は、町民野球場を減免対象とし、カントリーパークは減免対象外だ。

荊尾 カントリーパークの条例、規則を見ると減免規定がある。西伯郡の学童大会を開催

する際、少しでも野球環境の整った球場で試合ができるように、子どもたちのために減免して欲しい。教育長の考えを問う。

教育長

来年、南部町が西伯郡学童野球の事務局だと聞いている。どの形がよいか、少し検討させて欲しい。



農業施策

Q イネカメムシ被害の対策は

A 県や関係機関と連携し検討する

荊尾 令和5年の米の収穫状況を鑑み、町は農家への支援施策をどのように講じるのか、

またイネカメムシの防除について町の取組方法を問う。

町長 水稻の収穫状況は、日照不足や夏場の高温障害に

加え、本町では、水稻のイネカメムシの大量発生により、主食用米の等級低下、収量の減少と

いう状況だ。特に、飼料用米は、刈り取り時期が遅くイネカメムシの被害が集中し、甚大な被害だ。この対応として、防除費用や防除用機械基盤、減収による生産者の経営資金など、多岐にわたり検討し、対策を講じる。鳥取県や関係機関と連携し、対策を検討する。

少子化対策

Q これまでの検証と今後の施策

A 少子化・人口減少に歯止めをかける施策を



いたい たかし 議員
板井 隆



板井

今後の施策を問う。

特に、結婚適齢期の方に結婚、子どもを産み育て

町長

たいと思える環境を整備する、施策を進める必要がある。

また、若者世代の転出が多くみ

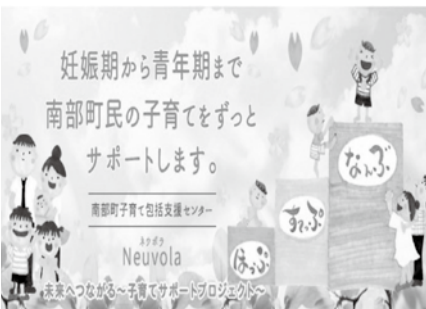
背景
当議会は子だくさんの奇跡の町、岡山県奈義町へ行政調査に出かけた。奈義町では独自の経済的な支援に加え、地域ぐるみで子どもの成長を支える町づくりを推進していた。

板井

過去9年間の少子化対策を問う。

町長

結婚支援は出会いの場、マッチングの増加はあつたが、その後のサポート制度がなく、結婚実績は把握できない。出産・子育てについては、ネウボラなどソフト面は高い満足度があったが、遊び場、預ける場所の要望が多い。総じて、明確な少子化対策、人口増加につながない。



住につなぐための宅地の確保が必要と考える。少子化対策だけでなく、ますます加速する人口減少に歯止めをかける事業など、総合的な事業展開をしたい。

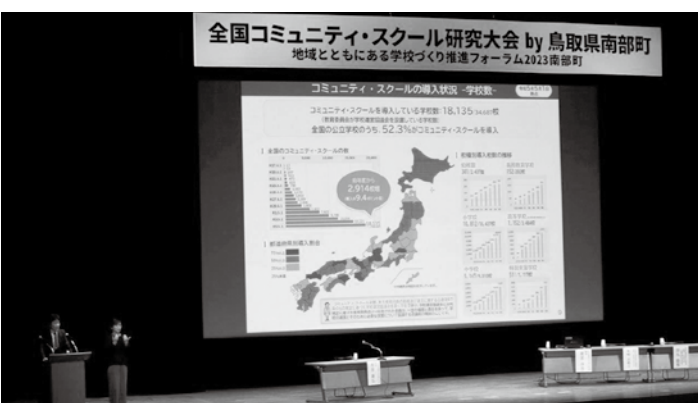
■ 小中一貫の対応と部活動の地域移行は9年間を見通し目指す子ども像を共有する

板井

小中一貫の今後の対応について問う。

教育長

現在、鳥取県には6つの義務教育学校、1つの小中一貫型小中学校がある。本町は、まち未来科や人権教育など学習の内容や、指導の両面から教育一貫の視点に立った学習を進めている。また、コミュニティスクールの取組みも義務教育9年間を見通して目指す子



コミュニティスクール全国大会

ども像を共有し、小中一貫教育を推進する。

板井

中学校部活動の今後の対応について問う。

教育長

少子化による部活動の影響は多分にある。現在、部活動あり方検討委員会を設置し、生徒の意見も含め検討している。今後、両校の生徒がともに参加できる南部町のクラブへの移行が地域移行につながると思う。移行に当たっては、活動する中学生に最大限配慮し、段階的に部活動改革を進めたい。



南部・法勝寺合同ソフトボール部

一般質問

イネカメムシの被害

Q 防除費用の補助はどうなるか
A 県へ協力を要請しながら考える



加藤 南部町ではイネカメムシの被害をどう把握しているか。

町長 南部町全体の被害は把握していないが、大國、天津、手間で多くの被害が出ていると聞いている。特に飼料用米に大きな被害が出ていると聞いている。

加藤 11月14日と27日に会合が持たれているが、何を話し合ったのか。

町長 14日は飼料用米の生産に取り組み大規模生産者、JA西部、中四国農政局鳥取県、NOSAー鳥取、政策金融公庫など関係者を集まってもらいイネカメムシの被害の情報交換を

おこなった。
27日には情報交換の中で出て要望の多かった戸別融資相談会を行った。

加藤 令和6年度から防除費用が新たに必要になるが補助はどのように考えているか。

町長 補助制度は実施しない。関係各所と協議を重ね、補助の必要性や方法を検討した上で鳥取県へ協力を要請しながら考える。

加藤 農業収入保険でどこまで補償が出来るのか。

町長 過去5年の内、最低と最高の9割が補償される。

保育園の問題

Q 120人定員の保育施設の大きさはどのくらいか
A 示せない

加藤 4月に地権者に対して承諾を取っているが法的根拠は何か。

町長 保育所建設候補地の地権者から承諾書はあくまでも意向確認にすぎない。承諾書を頂く上では法的根拠は必要ないと認識している。

加藤 保育園設置に関する条例の改定なしで承諾書を取ることが出来るのか。

町長 保育園統合計画は町立保育園2園を統合して、新たに私立保育所として伯耆の国が設立して運営する方法で協議を進めている。

私立なので、新たな町の条例の制定は必要なく、公私連携協定を交わして事業を進めていく。折を見て既存の2園を廃止する条例改定を行う予定である。

加藤 現在、新しい園の定員を120人としているが、その場合、国の基準で保育園の大きさはどのくらいになるのか。

町長 児童福祉施設の設置と運営に関する基準によればかなり小さいものになる。

加藤 かなり小さいものとは具体的な数字でいくらか。

町長 何平米以上ないといけないかは示されていない。

加藤 建物の大きさを試算していないのか、それとも示せないのか。

町長 国の基準に照らし合わせて示すことはできない。

加藤 国の基準で駐車場は範囲に入るのか。

町長 全国一律の基準はない。

農業支援策

Q 町の財源を使っても支援すべきでは
A 支援をする考えで方法を検討していく



みかも よしひみ
三嶋義文 議員



三嶋

本町の令和5年産米の収穫量は、イネカメムシの異常発生で大きく減少し、米生産農家には大変な収入減となった。

こうした被害を、町はどのように把握し、対応を考えているか。

町長

被害状況や減収の把握は厳密には困難だが、再生協議会から支払われる飼料用米に対する水田活用直接支払交付金が、例年と比べると大幅な減額となることの試算はしている。

今後、町としては、生産者の方から被害状況の聞き取り等、情報収集して、県や関係機関と情報共有しながら対応を検討していく。

三嶋

米生産農家からすると、令和3年度の米価下落による収入減から、やっと米価が元に戻りつつある中で、この度の被害によって小規模農家は離農、大規模農家では規模縮小を考えられるのではないかと懸念する。

町は令和3年度の米価下落の時の対応として、翌年度に農業機械の購入に対して、2分の1の補助金を交付する事業を新設された。

町長

この事業の実績と財源を問う。この事業は従来からあった、汗かく農業者支援事業に機械整備のメニューを新設したもので、申請件数は259件、補助金額が3020万6千円で財源は全額が新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金だった。

三嶋

この制度は農家の皆さんからも非常に人気で、次年度も事業継続を要望したが、財源を理由に単年度で打ち切りになった。

この補助金は全額が国費の交付金で、町の財源は投入されていない。

この度のような、町内全域で災害のような被害が発生した場合、町はしっかりと支援する必要があると思うがどうか。

町長

先日町長として、知事へ要請書を提出もし、防除費用の補助と技術的な支援をお願いして、県から一定の応援は頂けると思っている。

今後、防除をしなければ被害が拡大していくことは間違いなところだが、実施方法についても、効果的な一斉防除のためには品種の違いや農薬の使用などといった課題が沢山あり、皆さんの協力を得ねばできない。

三嶋

県も応援していただける感触だとの事だが、町が

本気になって、国や県の財源に依存するのではなく、このような時こそ町の財源を投入して支援していく。

このことが、町の農地と農業を守っていく重要な施策だ。

支援のための財源として、ふるさと納税で頂いたさくら基金を活用するなど、財源確保したらどうか。

町長

町民のために、こうした危機的な状況、特に災害級のこうしたことが起こった時には、当然、町民の、また農家のためにお金を使うべきだと思っている。

一斉防除のための課題解決や農家支援について、県の普及所や農協の協力を頂きながら方法を検討していく。



住宅助成

Q 住宅リフォーム助成を求める

A 今ある制度を利用して



かめお きょうぞう
亀尾共三 議員



亀尾 住宅リフォーム助成制度の創設を求めて質問する。

誰もが「生まれた地域、住み慣れた家で住み続けたい」と願っている。住宅改修工事では、大工、左官等、地元発注もできる。町長の言っている町内での経済循環に役立つことになる。全国の自治体でも取り組んでいるところが多い。これまで求められても実施されないがその理由は何か。制度の実施を求める。

町長 他の市町村で取り組んでいる、住宅リフォーム助成の政策目的は、地元中小企業の支援と経済の活性化、及び個人の消費拡大だ。個人の財産形成への税金投入ということから、

例えば、定住促進とか、子育て世代とか、一定の政策目的にかなうものを対象要件としている。本町でも、三世帯同居支援や定住促進奨励金など実施している。

町内の方の住宅改築の支援を優先することは、高齢化や、家計収入減などで誰もが持ち家の維持・改修に苦労されながら暮らしていることと思う。安心して本町に居住し、家を維持していくことの難しさは、私も心配しているところだ。

県の「とっとり住まいる事業」や本町の制度を利用し家を維持していただけたらと思う。

人口透析

Q 西伯病院で透析治療の実施を

A 他の医療機関に担ってもらいたい

亀尾

議員 西伯病院で人工透析治療の実施を求める。

11月9日、南部町議会で、高知県佐川町の町立病院に、公立病院の運営について行政調査に出かけてきた。98床の規模だが、経営は黒字とのことであった。

人工透析治療も行っており、その運営状況を見ると、年間収入1億2千万円に対し、同支出は約9千万円で、年間約3千万円の収益という事であった。人工透析治療の実施を求めたい。

病院管理者

透析医療については、診療報酬が高く、継続的な治療のため、一定の患者数が確保できれば安定的な収入になるかとは思っている。

西伯病院で始めようと思えば、施設・設備面での整備、腎臓専門医等専門スタッフの確保が必要になってくる。

身近な病院で透析ができればありがたいという意見もあると思う。また、これまで議会で取り上げられたことも承知しているが、人口減少等で医療ニーズが減少する中においては、当病院が整備をするのではなく、設備・スタッフの整った医療機関に担っていただくのが良いと思う。

西伯病院は、町民の皆さんが、人工透析が必要な状態にならないようにすることが、町立病院として、大切なことであると思う。



西伯病院

西伯病院の経営状況

Q 経営強化プランでの9月までの推計は

A 経常収支は引き続き非常に厳しい



なかだ しろう 議員 仲田司朗



背景

総務省が公立病院の持続可能な地域医療供給体制を確保するため、公立病院改革プランの要請を受け、経営強化プラン(中長期戦略)令和5年度から9年度)が作成され今年度からスタートした。

仲田

令和5年度も既に6か月経過した中、プランで掲げた数値目標と現状との差についてどうなっているのか。

病院管理者

経営強化プランは令和5年度から9年度までの5か年間に経常収支を黒字化するための取組と数値目標を記載している。

令和5年9月末実績を基に推計すれば、経常収支比率は令和5年度目標値98.89%に対し

93.6%、医業収支比率は令和5年度目標値77.52%に対し71.3%、病床利用率は5年度目標値81.82%に対し76.5%など24項目の数値を目標に掲げているが目標に達していない状況である。

今年度の経常収支は引き続き非常に厳しい状況である。

仲田

医師の確保はどうなっているのか。

病院管理者

現状としては、鳥取大学医学部からの常勤医師、診療援助医師の派遣、自治医科大学卒業医師等の派遣により十分とはいかないまでも必要な医師確保は出来ている。医師確保が厳しい状況である。今年夏に医師人材紹介会社と医師派遣に係る情報提供の契約を締結し採用したい。

仲田

西伯病院と診療所が連携した在宅医療の取組につ

いて、どうなっているのか。

病院管理者

住民が住み慣れた地域で安心して療養生活を送られるよう西伯病院として、在宅療養支援病院の届出を本年12月に行った。診療所・かかりつけ医との連携の下、町民の皆さんが安心して在宅生活を送れるよう機能強化を図っていききたい。

仲田

西伯病院に人工透析室を設置できないか。

病院管理者

今後の人口減少等により医療ニーズが減少する中において透析機能を整備するのではなく設備入タッフの整った地域の透析医療機関で担っていただくのがよいと考えている。

桜の維持管理

Q 法勝寺川土手の桜の木が枯れかかっている
A 保全に努めて後世に残していく

仲田

南部町のキャッチフレーズは「見てごしない、桜と蛍の舞う町」となっているが法勝寺川土手の桜の木が年々老木化して枯れかかっている箇所がある。ボランティア団体等でテングス病の除去作業を行っているが、枯れた木の進行は止められない。そのため、通行している中高生や町民の皆さんに当たる可能性があり大変危険である。どうするのか。

町長

法勝寺川沿いの桜並木は、県内でも有数の桜の名所として開催して町内はもとより町外からも多くの方が来訪される。南部町の桜は春の里山風景の象徴であり、今後も適切な維持管理を行い、80年、100年と保全に努めて後世に残していくことが重要であると考えている。

保育園アンケート

Q アンケートの集約は

A 紙回答で納得いかないが6割



まかべ ようこ 議員
真壁容子



町立保育園4園の存続を

求めて質問する。公立保

真壁

育園をなくし民営化する動きがこれまで政府のコストカット政策で進められてきた。町民は2

園の民間移管とそれを「伯耆の国」前提に進められていることに疑問を抱いている。説明する

責任が町にはあるのではないか。

町がとったアンケートについ

て、全体の集約を求める。納得できない理由が多かった意見はどのようなものか。

町長

保護者については、46%

6%の方から回答があり、町の考えに納得・おおむね納得という回答を8割を超える方からいただいた。電子回答・紙回答では、町の考えに納得できな

い、あまりできないという回答が6割を超えた。その理由として、統合・民営化に反対が68件、新園の場所に反対が56件いた

ている。

このアンケートの目的は、直接の受益者である保護者に意見をお聞きし、施策に反映させたいと考え実施したものであり、

アンケート対象者に分類し集計をおこなうことが適切と考えている。

真壁

住民からは、「どうして保護者からしか意見を聞

かないのか」という声が多かった。民主主義のイロハではない

か。保育園を建てる税金はみんなが負担している。町づくり

みんなが意見を言う権利があるのではないか。全体の約6割が

納得いかないといっている。民間移管に反対する声が多かった。それをどう考えるか。

町長

保護者からは、早く建てるべきだという意見が多

かった。民間移管については、説明不足という意見があった。

私どもの考えをしっかりと伝えていかなければと思った次第だ。

真壁

建設費が、町が建てる方が町の負担が少ないとの

説明は。

町長

建設費が7億3500万円と仮定して説明してき

た。当初は町が建てる国からの補助金はなく、民間が建てた

場合には補助金があるので民間の方が有利と説明してきたが、

民間が建てる場合の補助金の算出方法に誤りがあり、改めて算

定すれば、民間が建てた方が、町負担が逆に高くなるのがわ

かった。

真壁

国の基準では定数120人

人くらいの規模の基準はどれくらいかの建物建設費といっているのか。

町長

国が定める交付金の基準額が1億2千万と言うものがある。国の割合は2分の1

という明記がある。

真壁

1億2千万円の2倍ということになるのではない

か。町は当初から建設費7億円規模といってきた。国の2倍以上

の建物を建て、それを無償で貸与する。住民は納得しない。

どう説明するのか。

町長

7億円ありきで話しているのではない。それ以上

になるかも知れないしそれ以下になるかもしれないということだ。

行財政審議会にも諮った。手違いもあったが、よくわかったということだ。

真壁

何にも答えていない。国の基準の2倍以上のもの

を建て、町が全部補填し、それを無償で貸し付けることができるのかと聞いている。

町長

7億円はすみれ保育園を参考にした。

一般質問

少子化および子育て施策 Q 子どもを中心とした政策が必要 A 子育て支援課を中心に事業を行う



細田 国はこども家庭庁を発足し、子ども中心のまちづくりを進めると言っている。わが町でも国の政策を活用し、子どもを中心とした政策が必要と思う。

町長 本町では、子育て支援課を中心に各課と連携し、事業を行っている。具体的には、ネウボラ、産後ケア、ファミリーサポート、一時保育、各種相談、子ども食堂、児童館の充実、要保護児童対策地域協議会（要対策）との情報連携など、様々な施策を行っている。

細田 国の支援を受け、わが町でできる施策を多く取り入れる必要があると思う。

町長 子ども子育て関係施策は、様々行っているが、

子育てのセーフティネットをより強くするため、こども家庭センターの設置が義務付けになりますので、この開設に向けて準備を進める。

細田 子育て中の両親に対する支援が必要と思われる。

町長 昨今の要保護児童の状況を鑑みると、家庭環境に起因する事象が見られます。要対協ケースを見ましても、31世帯のケースがあり、そのうち20世帯が両親の支援が必要です。各課と連携しケースごとに個別支援をしていく。

細田 国が「子どもと真ん中」な政治をされると言っています。本町も「子どもと真ん中」と同時に教育についても一体ですので、子ども教育のまちな南部町、これを目指す町政が必要と思う。それと同時に11月1日は教育の日になっている。

国はこども家庭庁を発足し、子ども中心のまちづくりを進めると言っている。わが町でも国の政策を活用し、子どもを中心とした政策が必要と思う。

議会活動日誌

10月		会議・行事
5	木	議会全員協議会
11	水	広報常任委員会①
15	日	西伯文化会館解放まつり
16	月	西部町村議長会連絡会
18	水	広報常任委員会②
19	木	日本海政経懇話会 10月例会
19	木	南部町・伯耆町清掃施設管理組合視察研修
20	金	
22	日	熱と光の解放文化祭
26	木	広報常任委員会③
30	月	
31	火	鳥取県町村議会議長会役員行政調査

11月		会議・行事
1	水	たすかーど発行記念セミナー
7	火	江府町制70周年記念式典
8	水	
9	木	地方行政調査特別委員会地方行政調査
10	金	(P16、17)
20	月	議会運営委員会 西部広域行政管理組合議会定例会
21	火	地方行政調査特別委員会地方行政調査 後期高齢医療広域連合議会定例会
22	水	議会全員協議会 鳥取県町村議会議員研修会

27	月	議会全員協議会 臨時議会 本会議
29	水	町村議長全国大会

12月		会議・行事
4	月	南部町伯耆町清掃施設管理組合議会臨時会
5	火	日本海政経懇話会 12月例会
7	木	民生教育常任委員会 議会運営委員会
8	金	議会全員協議会 定例議会 本会議
11	月	定例議会 一般質問
12	火	定例議会 一般質問
13	水	定例議会 一般質問
14	木	常任委員会 全国コミュニティスクール研究大会レセプション
15	金	常任委員会 全国コミュニティスクール研究大会
18	月	議会運営委員会 常任委員会
19	火	議会運営委員会 議会全員協議会
20	水	定例議会 本会議
22	金	西部町村議長会連絡会
26	火	西部広域行政管理組合議会決算審査特別委員会

町長 これに併せて南部町子育て中心政策機関を作ることを検討できないか。
まったく異存はありません。町として日にちを決めて、みんなで取り組むということも大事だと思うので、総合的に勘案していきたい。



やまね ひろし
山根 宏美さん

- ・「ひろみいちご」(現在3年目)
- ・南部町市山 1087-1『えんがーの』の向い
- ・アパレル業界から農家に転身



いちごの高設栽培

Q いちご栽培を始めたきっかけは

A 子育てにも目途が立ち自分がやってみたい事を模索していて、南部町に帰ってみると昔より静かになってるなど感じ、地域活性化に繋がる仕事は何かと。その後師匠となる中村さんに相談したら「一次産業から出来ることを仕事にしてみたら」と言われたことや、師匠の考え方や仕事の取り組み方に感銘を受け、弟子入りしました。



鳥取県オリジナルいちご
「とっておき」

Q これからの目標は

A いちごの販売時期以外では収益がないことを頭では分かってはいましたが、心配な毎日。そこで美味しいいちごを一年中楽しんでもらえるようにジャム作りに着手しています。今はいちご同様直販や「えんがーの」で販売していますが、今後はオンラインやふるさと納税などでも販売したいです。

Q 苦労があると思いますが

A 猛暑での育苗や大雪によるハウスの心配、重労働もありますが苦に感じることはなく、美味しいいちごを作るために試行錯誤していることが、とにかく楽しいです。自分が納得できるいちごを作るために作業ができる事に幸せを感じています。

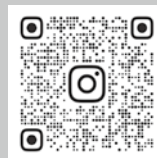


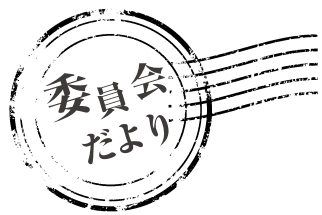
3種類のジャム

こだわりの美味しいいちごを直接お渡し
したいのでご予約をお願いします。

ご予約 お問い合わせ先
TEL : 090-9509-8351

Instagram
@AKARI_FARM_NANBU





行政調査

期間：11月8日(水)～10日(金)・21日(火)
地方行政調査特別委員会より

南部町議会は、徳島県上勝町、高知県佐川町、岡山県奈義町への行政調査を行いました。人口減少など様々な課題を解決するため、先進自治体の取り組みや効果を視察調査し、今後の町政へ資することを目的としています。

かみかつ 徳島県 上勝町



①有償ボランティアによる公共交通

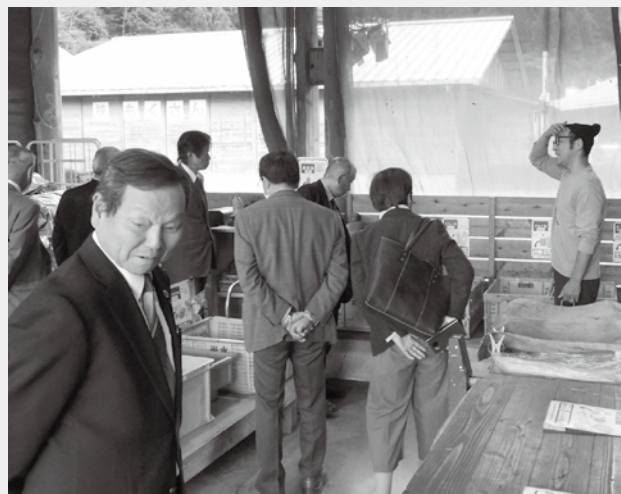
平成14年に町内タクシーが休業。さらに平成16年には主要路線である徳島バス上勝路線が廃止されました。現在、「一般社団法人ひだまり」が中心となって利用会員と登録運転者をつないでいます。過疎化の進む中、利用者は増加傾向にあり病院や買い物など住民同士の助け合いが地域を支えていました。



②ごみの減量化施策

ゴミのリサイクル率80%を達成しています。人口1500人のこの町では、かつては「野焼き」が主流であったと伺いました。しかし、ダイオキシンなどが社会問題となるか、高額な焼却炉を整備することよりも『ゴミそのものを出不さないようにしよう』が住民協議で決まったと伺いました。現在、ゴミは住民持ち込みで45種に分別されています。

ごみの減容化に取り組むわが町としてもよい参考になりました。



さかわ
高知県 佐川町



①自治体病院の健全経営

町立高北病院は地域から信頼される病院をめざし、職員スタッフみずから病院の経営改革に取り組んでいます。病床転換などをおこない介護サービスも取り入れながら「住み慣れた町・家で一体的に完結できる地域包括支援ケアシステム」の拠点としての姿はよい参考になりました。



②自伐型林業による森林活性

佐川町の森林面積は7割以上を占めています。自伐型林業の柱は、地域おこし協力隊を担い手とする雇用の創出、町が主体となって林地の集約、そして伐採材の活用です。これまで手の入っていなかった森林を整備することで木の価値を高め、移住定住の促進に貢献しています。南部町においても森林の活性は大きなテーマとなっています。



なぎ
岡山県 奈義町



①子育て支援政策や若者定住施策

町独自の子育て支援政策や若者定住施策を進めた結果、令和元年の合計特殊出生率が日本トップクラスの2.95になった町です。少子化による人口減少は、この町を守り続けてきた高齢者の安全・安心につながる課題だということを住民同士で共有しています。「少子化対策は最大の高齢者福祉」というビジョンのもと高齢者や保護者同士みんなで子育てに関わっている姿は印象的でした。「なぎチャイルドホーム」は20年後を見据えた拠点としてその中心にありました。





民生教育常任委員会よりの要望

5. 人権対策のさらなる強化

- (1)「だれひとりも取り残さない」というSDGsの理念のもと、子どもの貧困対策において、就学援助や奨学金制度のさらなる拡充を求める。
- (2)内閣府が公表した「ジェンダーギャップ指数2022」では日本は146か国中116位とある。韓国やASEAN諸国よりも低い結果となった。ジェンダー平等の観点からジェンダー格差などの相談に町が対応できる体制を整えることを求める。

6. 保育園の運営

- (1)保育園は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。町として保育責任を明確にし、子どもたちの個性や成長に合わせ、よりきめ細やかでクオリティーの高い保育を目指すことを求める。
- (2)また、保育士については引き続き職員確保、待遇改善、格差是正に努めることを求める。

7. 環境対策の抜本的な充実

- (1)「南部町地域脱炭素に向けた再エネの最大限導入のための計画」にもとづき、民生部門（家庭）への再エネ設備導入を促進するため、抜本的な補助制度の見直しを求める。また、町の施設において、バイオマス燃料など再生エネルギーの自給率を高めることを求める。
- (2)ゴミの減量化について、町は一段と踏み込んだごみの減量化を促進すること。また、住民へ温暖化対策の意義を伝え、フードロスやゴミの分別促進に関わる啓発を積極的に行いリサイクル率の向上につなげること。合わせて住民一人一人が温暖化防止の一翼を担っている事を周知していただきたい。

8. 中学校制服、学校給食費の負担軽減

- (1)制服の補助制度について、「指定服」であることをふまえて子育て支援の一環として令和7年度以降も継続することを求める。
- (2)給食費について、円安や戦争に起因する物価の高騰は住民の暮らしに暗い影を落としている。給食費のさらなる負担軽減、多子世帯については抜本的な負担軽減を求める。

9. 健康診査

- (1)南部町での全体的な受診率は県平均よりも高い。一方で、婦人科（子宮がん、乳がん）の受診率は低い。早期発見がカギを握る事からがん検診の啓発に努めることを求める。
- (2)人工透析の原因となる糖尿病と高血圧症の早期発見と予防に力を入れることを求める。

令和6年度 町政に対する要望事項



総務経済常任委員会よりの要望

1. 人口減少対策、少子化対策

人口減少対策に危機感をもって、施策を講じる必要がある。

- (1)具体的な目標（数値）を掲げて、それを達成するために、どういう施策を実行していくのかを求める。
- (2)人口減少により集落維持が困難になってきている。県道や集落間の道路の草刈り作業等が出来なくなりつつあるため、早急に対策を求める。
「南部町ふれあい道路サポート事業」を活用されている団体はもちろんだが、活用できない団体や集落に事情を聴いていただくことを求める。
- (3)わが町はこれまで様々な少子化対策を打ち出してきた。しかし、合計特殊出生率は県平均よりも低い約1.25である。少子化に歯止めをかける抜本的な対策を講じることを求める。

2. 農業対策

- (1)南部町の基幹産業である農業を守り、生活が成り立つ農業にすること。
イネカメムシ防除対策について、実施方法、実施主体、費用負担、県及び町の補助金、等々喫緊の課題解決を求める。また融資を受けた場合の利子については、町の利子補給制度の新設を求める。

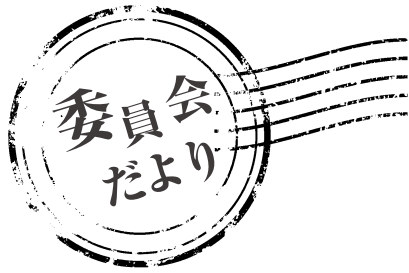
3. 公共施設の整理をされたい

- (1)手つかず或いは投げっぱなしの公共施設が依然として見受けられる。早急に存続か廃止か、または地域への移譲かなど方向性を出すべきである。

4. 町道対策

- (1)除雪対策について、令和5年1月の大雪の際には、除雪体制が機能せず、町内は路線バスを含め大混乱となった。その経験を活かし、除雪体制の強化を求める。
- (2)町道管理について、危険木や障害木などの樹木の伐採を行い、安全確保を求める。





南部町議会を 視聴してください

南部町議会では、読む「議会だより」だけではなく観る「議会だより」として、一般質問や議案に対する賛成反対討論の様子をYouTubeでも発信しています。

活字離れが進むなか、SNSで情報を得る人が増えています。スマートフォンに鳥取南部町議会チャンネルを登録してぜひ議会の様子を観て下さい。



(QRコード)

QRコードの読み取り方

各議員の一般質問のページの顔写真の下にQRコードを入れています。スマホかタブレットで読み取りをすると各議員の6月議会での一般質問を映像で見ることが出来ます。

Android
スマートフォン

① ホーム画面



① **カメラ・ビデオ**をタップする。

② カメラ起動



② カメラを起動し、枠の中心になるよう**QRコード**をかざすと、自動で読み込みます。

③ 読み込み



QRコードを読み取ると、**青い文字**で表示されます。



③ 読み取り結果(**青い文字**)をタップすると、読み込みます。

Android
タブレット

① ホーム画面



① **カメラアプリ**をタップしてカメラを起動する。

② カメラ起動



② **QRコード**に近づけると自動で読み込み、**認識した文字**が表示されます。

③ 読み込み



③ **認識した文字**をタップすると、読み込みます。

うしろのページよりお読みください

二十五番、二十六番と進んでいくと待ち構えていたのが、急こう配をまつすぐに上る、このルート一番の難所。つかまる木々もあまり無く、滑り落ちそうになりながらも少しずつ前進・登坂し、やっとの思いで尾根筋にたどり着きました。

ここからはまた比較的ならかな道を三十七番、三十八番と進み、四十六番で母塚山頂上に到着です。



母塚山頂上をお間違え無く

観音像が安置されている展望駐車場の辺りを頂上と勘違いされている方もいらっしゃるのでは。本当の頂上は観音像から尾根道を400mほど南側に進んだ、送電線の鉄塔の先です。お間違え無く。

神々の母神を祀る尊い山

この母塚山は、古事記に記されている国生みの神である伊邪那岐命、伊邪那美命ゆかりの地と言われています。

母神である伊邪那美命が火の神をお産みにな



り火傷で亡くなった後、八百萬の神たちが亡骸を葬った山であるというのが母塚山という名の由来だそうです。そして、葬儀の後に身体を清めるために速秋津比売という水神が杖を立てて湧き出させた清水が、麓のふるさと交流センター横のフロヤの泉と言われています。

この頂上から、三崎や谷川の辺りまで海であった往時を想像しつつ赤猪岩神社方面を眺めれば、そこには大きな袋を肩にかけた人影が・・・。

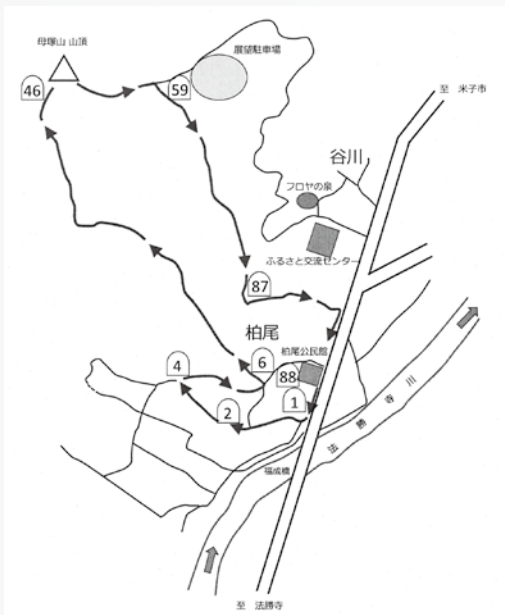
なかなか手ごわい下り坂

頂上を過ぎればこの後は下り道です。展望駐車場方向に少し進み、五十九番から尾根道を外れ柏尾集落の北側に向って九十九折の山道を下ります。木の根に躓いたり、膝が笑いそうになつたりしながらもスタートから約2時間後、何とか無事に終点の柏尾公民館に到着し八十八番のお地藏さんに手を合わせる事ができました。

地元で保全

この巡拝コースが作られ、お地藏さんが安置されてから百年近くが経とうとしています。一時は歩く人も無く荒れ放題だった時もあったようですが、今では4月の終わりに柏尾集落総出で草刈り等が行われ、現存の全てのお地藏さんの穏やかなお顔を拝することが出来る環境が整備されています。

木々の息吹と聖地の厳粛さを感じられるこの母塚山の巡拝コース、皆さんもぜひ一度挑戦されてはいかがでしょうか。



母塚山のお大師信仰 (柏尾)

尊い山の八十八対のお地蔵さん



柏尾集落には、母塚山の頂上を經由し一回りして戻ってくる道沿いに、八十八対のお地蔵さんが安置されている弘法大師信仰の巡拝コースがあります。今は無き天津小学校時代に同級生と登ったこの母塚山のお地蔵さんの道を55年ぶりに辿ってみました。

多くの寄進者により作られた

信仰の道

このお地蔵さんの巡拝コースは、昭和の初期、柏尾集落でお大師さんを信仰しておられた有志の呼びかけにより、柏尾集落の皆さんを



はじめ、町内外の多くの皆さんの大師像や薬師地蔵等の仏像寄進に



より作られたものです。

起点と終点となる一番とお地蔵さんが安置されている柏尾公民館(薬師堂)で

一番のお地蔵さんに道中の無事を祈願し出発。集落の南側を回り込むように農道やあぜ道を進み六番から林に入っていくきます。当分の間は山裾のなだらかな林間ルートをお地蔵さんの番号を確認しながら進みます。

思わぬ難所あり

順調に進んでいたのも束の間、沢を渡った三叉路で進路の選択に失敗。お地蔵さんが発見できないまま数百メートル進んでやっと引き返す勇気が出、三叉路まで戻ってまた迷い、三度目にやっと正しいルートに復帰できました。

21ページに続く

あとがき、

南部町議会ではペーパーレス化(紙を少なくする)の取り組みの一環として12月議会から各議員にタブレットが貸与されることになりました。

9月、12月議会では議員一人が受け取る資料はA4サイズで1,000ページを超えてしまっています。これを節約してタブレット1台にするのですが、活用方法は色々あります。

南部町では2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを宣言しています。

今回のタブレットの導入にはこの目標も関連しています。

3月議会までもう少し、使い方に慣れなければならぬと思っています。

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

加藤 学
塔田 光雄
景山 浩
板井 隆
白川 立真
長束 博信
仲田 司朗
荊尾 芳之